

「ベトナム最新動向」

石川 幸

日本では師走には寒さが増していることと思います。ここベトナム南部のホーチミンは常夏であり、最も寒い1月下旬頃の早朝で気温20度を切るかどうか、ということで、避寒目的で日本から常夏のホーチミンへお越しになるのも良いかもしれません。

＜外国人観光客の急増＞

日本国籍保有者向けのビザなし渡航が45日まで拡大されるなど、政府は外国人観光客の誘致をしています。空港の出入国審査の混雑状況、街中の観光客を見かける頻度など、コロナ前に戻っている部分があると思います。それらを裏付けするように、ホテルの増収増益基調がニュースで報道されています。ご希望される宿がある場合には、お早目のご予約をおすすめします。

＜良番ナンバープレートの高額落札＞

不動産やビジネスでの成功者を含め、ベトナム人富裕層において、自身のプレゼンス・アピールが垣間見える事例があります。例えば、世界で限定100台販売の超高級車を予約するなど、他の人が持っていないものを持ちたがる・買いたがります。また、次のようなニュースもありました。23年9月15日、新しく交付される車のナンバープレート番号の競争入札で、良番ナンバーが超高額で落札されました。ホーチミン市登録「51K-888.88」の落札額は323億3,500万ベトナムドン（約2億200万円）、ハノイ市登録「30K-555.55」は141億2,000万ドン（約8,800万円）でした。日本とベトナムの所得格差（資産格差）を考慮すると、どれだけ超高額なのか想像いただけたと思います。さらには、その一部の落札者は購入権を放棄していたそうです。落札者が期日どおりに購入代金を支払わなかったため、落札した購入権は取り消され、保証金4,000万ドン（約25万円）は国庫に没収されたとのことですが、この保証金でも十分な高額です。

ちなみに、数字の8は「発展」を意味するベトナム語の「Phat」に発音が似ており、5は「前進」を意味する英語の「Go」に通じることから縁起がよいと考えられています。その他にも、「永続」を意味するベトナム語の「Cuu」に通じる9も人気があります。

＜若年労働者の減少傾向＞

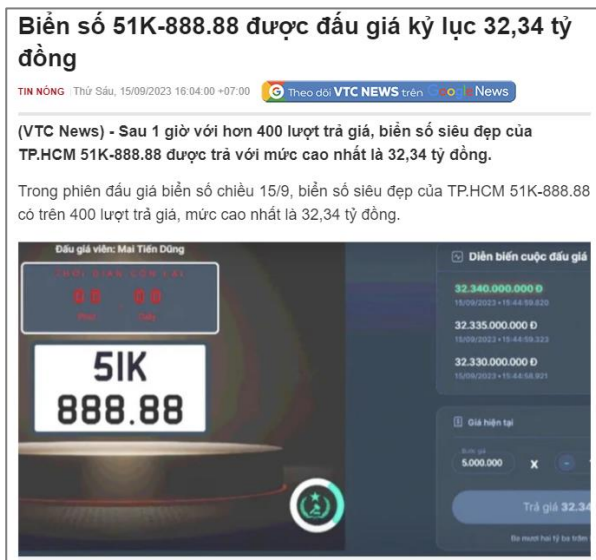
ベトナム政府の発表によると、ベトナムの青年人口（16才～30才）は、2020年末の2,260万人から2022年末の2年間で2,070万人へ減少しました。全人口（現在、約1億人）に占める青年人口の割合も、2020年末の23.0%から2022年末の20.9%へ減少しました。このように若年労働者数が減少傾向にあり、将来的な労働力の不足について懸念が示されています。また、まだ15年ほど先ではあるものの、2038年には人口ボーナスが終了すると予測されています。

※人口ボーナス期：15～64歳の労働年齢人口が、それ以外の人口の2倍以上になる期間。

＜24年テト休暇、2/8(木)～14(水)＞

ベトナムでは旧暦ベースでの正月「テト」が一般的になっており、西暦ベースの正月は1月1日だけが祝日で、普通の週末のような感覚です。2024年（令和6年）のテト休暇は、2月8日（木）～14日（水）と正式に首相決定がなされました。

このテト休暇の前後では、ビジネスでも動きが鈍くなるため（逆に急がされることもあり）、ご注意ください。テト前に資金が必要な人も増えるため、物騒な事件も散見されたり、またテト休暇後の小売価格の引き上げ（大体10%前後）も多く見受けられます。富裕層などは快適な休暇を求めて海外旅行へ出掛ける人もいます。



【高額落札を伝える VTC News】

（出所：VTC News <https://vtc.vn/bien-so-51k-888-88-duoc-dau-gia-ky-luc-32-34-ty-dong-ar820268.html>）